

No.2018-98

発行:2018年12月14日

## モーターサイクル用ネオクラシックラジアルタイヤ

### ダンロップ ティーティーヒャクジーピー ラジアル DUNLOP「TT100GP Radial」新発売

住友ゴム工業(株)(社長:池田育嗣)は、モーターサイクル用ネオクラシックラジアルタイヤDUNLOP「TT100GP Radial」を2019年3月1日から順次発売します。発売サイズはフロント1サイズ、リア2サイズで、価格はオープン価格です。

DUNLOP「TT100GP Radial」は近年のネオクラシックブームに対応するタイヤとして、DUNLOPの誇る名パターン「TT100GP」をラジアル構造でリメイクした新しいコンセプトのタイヤです。「TT100GP」の持つネオクラシック車両にマッチする高いデザイン性と、最新ラジアルタイヤの走行性能を両立しており、街乗りからツーリング、ワインディングまで幅広く対応します。3月1日より発売するネオクラシック車両のメインサイズ2サイズに加え、5月よりフロントバイアス/リアラジアル車両向けにリア1サイズと、従来品「TT100GP」(バイアス構造)でフロント1サイズを追加します。



フロント

リア

# TT100GP Radial



商品名	発売サイズ	フロント/リア	タイプ	発売
TT100GP Radial	120/70ZR17 (58W)	フロント	TL	2019年3月
TT100GP Radial	180/55ZR17 (73W)	リア	TL	
TT100GP	100/90-18 56H ※1	フロント	TL ※2	2019年5月
TT100GP Radial	150/70R17 69H	リア	TL ※2	

※1 バイアス構造です。

※2 WTタイプとしてもご使用いただけます。

## ■主な特長と採用技術

### ①クラシックパターンの再現

DUNLOP が持つ最新シミュレーション技術を駆使し、「TT100GP」の特徴的な連続波状溝をモディファイし、ラジアル構造用に最適な剛性分布を実現しました。また、溝の一部を極薄サイプ化することでイメージを継承しつつ、ネオクラシックらしい外観になっています。「TT100GP」のアイデンティティとも言える無数の山形サイプも、サイプ角度や溝底形状を最適化し、デザイン性と耐摩耗性を両立させました。

### ②最新のネオクラシック車両に合わせた構造と配合

フロントには応答性が高い2カットベルト構造を採用し、リアには安定性が高いジョイントレス・ベルト(JLB)構造を採用することで、ネオクラシック車両にマッチする、癖がなく扱いやすい特性を実現しました。コンパウンドに採用した最新シリカ配合により、ウエット及び低温時でも高いグリップ力を発揮します。

また、シリカと高い結合力を持つポリマーも合わせて配合することで高い耐摩耗性能も確保しました。

## ■KAWASAKI「Z900RS」装着イメージ



以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 [TEL:0120-39-2788](tel:0120-39-2788)